

骨子表（2021 版） 施工計画、施工設備及び積算 III問題用 （III-2）

問題	問題分析	解決の方向性	実現上のハードル	リスク対応の具体策
<p>現状の分析、あるべき状態との差異</p>	<p>問題の発生原因</p> <p>多面的に内容と共に示す</p>	<p>解決の方向性、すべきこと</p> <p>1つ挙げ複数の解決策を述べる</p>	<p>具体化した際に起こる別の問題（2次リスク）、解決しきれず残る問題（残留リスク）</p> <p>※共通して新たに生じるリスク</p>	<p>制限事項への対応も踏まえた具体的な提案内容</p> <p>※専門技術を踏まえて回答</p>
<p>適正な利潤が確保できる予定価格が定められていない</p> <p>下請契約が適正でない</p> <p>下請企業技術者・技能者の労働条件が悪い</p>	<p>1.官積算の実態との乖離</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場条件を十分考慮した予定価格算定ができていない ・下請構造の反映が困難 <p>2.下請構造の複雑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工の細分化、専門化 ・中抜き企業の介在 ・重層構造、不明瞭 ・労務提供による重層下請 <p>3.下請企業の下請契約に関する法令等への理解不足など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業法などの法令、下請ガイドラインの理解ができていない ・契約に関する知識理解の不足 <p>4.元請企業からの圧力の存在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情申し立てができない 	<p>1.重層下請構造の改善</p> <p>1) 下請階層数の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注者による下請次数制限 ・建設業関係者との共同取り組み <p>2)一括下請禁止の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業法遵守の徹底 ・施工に携わらない業者の排除 ・建設業関係者との共同取り組み <p>3)下請企業の雇用環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事発注の平準化 ・CCUS の活用 ・社会保険未加入対策 	<p>1.下請構造改善に取り組む企業ほど不利になる</p> <p>1) 取り組まない業者が有利に受注する</p> <p>2) ルールの形骸化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組む企業が優遇される調達システム（参加要件、総合評価での加点、工事成績への加点） ・ルール違反者へのペナルティ